

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 日

120 農業土木

調査者氏名 中垣長睦 (印)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Irrigation Engineer (日本語) 農業土木	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Agriculture } Ministry of Agriculture & Water Development (日本語): 農業水源(資)開発省農業局					
② 隊員勤務先名称: Department of Agriculture, Western Province 日本語名称(西部州農業局) 所在地: Mangu 語 主要都市(Lusaka)から約600キロ					
③ 事業規模及び内容: 西部州農業局は農業開発省の管轄下にある。同局は作物一般、畜産生産と関係し、州農業局長以下200人の人員を擁する。うち40人が行政、160人が農業普及に従事している。同州は6つのDistrictに分かれ、Districtは6つのSub-Districtに分かれ、さらに					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 各Sub-Districtは5つのCampに分けられ、普及員が西に置かれている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 西部州農業局のカンガイ技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 農業土木、特にカンガイに関する知識・技術が必要である。カンガイ方法、カンガイ可能性調査の実施・設計に関する知識・技術。					
③ 業務の形態: 対象は同州全土にわたる。州都Manguを拠点にして、同州農業関係者と協働し、一定地域を対象にカンガイ可能性(カンガイ方法、コスト、有益性等)を調査し、場合によっては、そのカンガイの設計、実施に従事する。交通手段の敷も限られているので、常にあちこちと動きまわるわけではなく、場所選定等の準備準備に相当の時間を必要とする業務である。また状況によっては、ザンベジ河流域の稲作周縁のカンガイを年々加増させることとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Districtの長はForm5卒業3年の専門教育を、技術普及員はForm3orForm5(中学or高校)卒業、2年の専門教育を受けている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 伊達にはない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語, Lozi					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西部州は農業開発の遅れている地域であるが、国際河川ザンベジ河流域を利用しての稲作の普及、果樹の生産(カキ類、カシ、マンゴ)、畜産面での仲介業務官種の導入、飼育技術の改善、カンガイ調査等を重要な課題としている。しかし、いまだにこれを実施するための技術者の不足に悩んでおり、協力隊員の協力を求めているものである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校あるいは大学卒業以上、実務経験2-3年以上が望ましい (できれば大学 経験2年以上が望ましい)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 / 日

120 農業土木

調査者氏名

後藤 俊男

(印)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Irrigation Engineer (日本語) 農業土木	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先 (Dept. of Agriculture)					
① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE AND WATER DEVELOPMENT (日本語): 農業水産省 (農業局)					
② 隊員勤務先名称: Dept. of Agriculture 日本語名称 (東部州 農業局) 所在地: EASTERN PROVINCE 主要都市 (チバタ) 町 P.O. BOX 46, CHIPATA					
③ 事業規模及び内容: 農業局の東部州 (人口約65万6千人) の事務所として、8つの地区 — Chadiza, Katete, Retauke (Z), Chipata (Z), Lundazi, Chama — を所轄している。農業に關する業務全般を事務所の長 (P.A.O.) が統括し、事業部門において					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい) 1. 直下位置の各分野の専門官 (普及、計画、家畜飼育、養鶏、養豚、作物、乳牛) が、実務的な業務を担っている。上述の8つの地区には地区事務所長 (D.A.O.) が置かれて					
(2) 隊員の業務内容 いる。又、各地域毎に農民のための訓練機関が設置されている。					
① 隊員の業務上の地位: Irrigation Engineer - P.A.O. の直下位置の専門官 (Subject matter specialist)					
② 技術の範囲: 新たに灌漑システムを導入するため、その計画を立てる能力を要する者。1つは灌漑に關する全般的知識を要される。又、計画前の調査、及び計画後の実施に關する技術的指導。					
③ 業務の形態: 1. 農業振興に大きな役割を果すための、東部州全体の灌漑システムの導入に關する計画、立案、遂行。 2. 管内における農家に、必要に応じて、灌漑に關する技術的助言を行う。 3. 各地域における農民訓練校で灌漑に關する講義を行うことも期待されている。					
/ が主要な業務。2, 3. は必要に応じていった程度。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在いる。この事務所には灌漑に關する専門家は、計画専門官 (1人) 及び農業機械技師と協力して仕事を遂行することになる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水ポンプ、リレー・シミュレーター、ダブルベル、マジック・チェーン等。これらの機材は必ずしも豊富には備わっていない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: この事務所には、1人、1人、1人、1人等が二国間協定、あるいは国際					
⑦ 使用する言語: 英語 機材を通じて配置されている。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業振興がザンビアに對する主要政策の一つに在り。東部州もこれに依り、比較的自給条件 (気候、土壌) を生かして今後発展が望ましいと見られる。ただし、その発展の鍵となる農業用水をどうするかという点で、灌漑システム化が望ましい。このシステム化に關しては、協力隊員に期待するものは大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校あるいは短大以上。実務経験2~3年以上が望ましい。 (可能であれば大卒、経験2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 15日

120 農業土木

調査者氏名 リマ事務所

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語)	(男) 1 2人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業土木	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Sistema Nacional de Cooperación Popular

(日本語): 全国人民協力機構

ロ. 隊員勤務先名称: 国内各地の地方事業センターを巡回する日本語名称 ()

所在地: ことになり一定しない。 主要都市からの距離 (一より一キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大統領に直属する機構で長官は企画庁長官が兼任している。

リマ中に本部を有し、現在国内的50ヶ所に地方事業センターを擁し、(将来的には153ヶ所に増設予定) 各センターには技術者等約15名が

ニ. 設備概要:

配置され、管轄地域内の住民が自主的に行おうとする各種の公共事業に対し資金・技術の両面から側面的に援助・指導を行う。

(2) 隊員の業務内容:

これにより開発の遅れた地域の振興を、当該地域住民の自主性を尊重しながら促進しようというのがこの組織の事業目標となっている。

① 隊員の業務上の地位: 地方事業センターにおける技術顧問として各種の工事を直接指導する。その過程で、地域住民の人材育成及びペルー側技術者への技術移転を行う。他部門の隊員とグループ行動をとる予定。

② 技術の範囲: 主に小規模灌漑/工事全般についての知識と技術が要求される。いすいにしても郡部における各種分野の中、小規模の工事に携わることになる。上記の他、土木一般についての幅広い知識と豊富な現場経験が必要となる。

③ カウンター・パート: 特定のカウンター・パートは居ないが、各センターに配置されているペルー側技術者と協力して業務を行うことになる。

④ 利用し得る機材: 計画では各センターにブルドーザー、ダンプカー、小型トラック、コンプレッサー、ミキサー、モーターポンプ、空気ハンマー、測量機器等が配置される予定。

⑤ 使用する言語: スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現ペラウンデ政権が国家再建計画の一環として開発の遅れた地域の振興を図るために、その具体的な実施機関として復興したのがこの全国人民協力機構である。その活動はマスコミ等により広く取り上げられており、今後とも益々活動に展開していくものと予想されるが、該となる技術者が不足している状況にあるため JOCV 隊員の派遣が要請されたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒、実務経験 3年以上、^(○) 又は専門の高校卒 経験 5年以上、^(○) ② 强健な体力と精神力の持主、③ 自動車運転免許、大型建設機械の操作が出来ること并希望あり、④ チームを組んでの活動となるための協調性のある人物。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 10 日

125 農業機械

調査者氏名

新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Agricultural Machine (日本語) 農業機械	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年10月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bicol university College of Agriculture (日本語): ビコール大学農学部					
② 隊員勤務先名称: College of Agriculture 日本語名称(農学部) 所在地: Quinsobatan Albay 主要都市(コラソン)から 15 キロ					
③ 事業規模及び内容: 高校生 600人余 大学生 400人余 教官 職員 20 50人余					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 程んで見ると物が多い					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: 稲刈り取後の(乾燥)調整、保管に係る農業機械に精通していること					
③ 業務の形態: 食糧庁と共同で、乾燥機と精米機などの有効利用について調査、研究を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 前教育大学農学部大学院を卒業し日本語を達者であり、知識、技術豊富					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在なし					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、ビサヤ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 稲刈り取後の処理に問題があり、これをいかに改善するか、農家の一つの課題がある。同時に乾燥について、コラソンの処理について研究(知識)の希望がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 本来は農業機械関係の大学院卒業者が望しい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 9月 14日

調査者氏名 平沢 昭男

125 農業機械

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
2レニア	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	58年 7月 10月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Farmers' Organisation Authority, Ministry of Agriculture (日本語): 農業省農民組織委員会					
② 隊員勤務先名称: Farm Mechanization Center (FMC) 日本語名称 (農業機械センター) 所在地: Kota Bham 主要都市 (コトバム)					
③ 事業規模及び内容: 2レニアの国家予算からFMCの設立に協力し、半島2レニア全域に農民組織 (Farmer's Organisation) を形成し、農業の機械化を目指す。FMCは5~60のFMCを管轄する。FMCは現在14ヶ所にある。2レニアFMCに対して大型トラクター、2レニアFMC					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): FMCは各々の存貯農機と一任管理しており、7-7トラクター、倉庫等も持っている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: FMCに配属されている2レニアを指導する立場になる。					
② 技術の範囲: コンバインハーベスター (ヤコーロウ) の修理 (大型トラクター (FIAT, IH, Kubota等 60馬力未満) 等の保守管理、修理技術) の土壌、地形に合った農機の選定。					
③ 業務の形態: 流動的ではあるが、現時点では半島東部沿岸のコトバムにあるFMC勤務となり、周辺各地 (トコマ州を含む) にあるFMCを巡回し、各FMCに配属されている2レニアに對して上記の技術を指導する。また、新しい機械導入に際しては地域の土壌、農業事情に合った機種を選定し、本部に報告する。修理技術の指導にあたりはトラクターの2レニア: 必要なパーツの選定法も含まれる。また、農機具の安全での効果的な使用法指導も行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは大半が平均22才程度の若者がいる。対象者は2レニアは平均25-30才で高卒レベル。					
⑤ 現地で利用できる機材: 一般修理工具類					
⑥ 第3国人等の配置状況: 以前は米国人研修隊がいたが今はいない。					
⑦ 使用する言語: 2レニア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農機具のFMCに対する関心が始まり、数年を経るとしては他FMCに比べ2レニアは大半が最新の実際の経験がある。2レニアは2レニアにも大同小異であり、機械を最良の状態に保つ実践的な技術が欠けていない。隊員を通じて技術を得たいという意向がある。この配属先は米国人研修隊は大半直営で経験があるため、今回は2レニアに十分な技術は具備					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 2レニアに必要とされている。大学農機工学科又は機械工学科卒 (経験3-4年以上)。学歴は持っていない。カウンターパートの指導を受ける2レニアの方が活動はしやすい。十分な経験と技術がある2レニアの若手もいる。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 18 日

調査者氏名

木内志郎

125 農業機械

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A. R. シリア共和国	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械	新規 交代	(男) 3人 (女) 人 (男女不問) 人	59年 1月 以降	

(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform,

① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle

(日本語): 農業農地改革省. 酪農公園.

② 隊員勤務先名称: Agric. Engineering Section of 日本語名称(国家牧場農業機械課)

所在地: State Dairy Station. 主要都市(ダマスカス)から500以内. キロ

③ 事業規模及び内容: 酪農公園下の牧場は現在87所. うち1980年竣工. 新しい所は1979年に完成した. 今後1985年までに11ヶ所の新牧場建設計画がある. 各牧場では平均1000頭の乳牛を飼育しており. 牛乳及び肉の生産を目標としている. 各牧場の全従業員は平均100名前後. 各牧場とも約200~400haの草地を所有している.

④ 設備概要(写真添付が望ましい): トラクター数台(60~80HP. 名前はFORD, FORDSON等). タイヤ(105HP. 1974年製他).

アシスタント(80HP). 自走式ハロー(東洋製等). トラクタ用ポンプ. 灌漑用ゼネラルエンジン. トラクタ用ミルカー. 他.

(2) 隊員の業務内容(牧場では. 同時に要請される獣医師隊員と生活と共に行うこともあり得る).

① 隊員の業務上の地位: 各牧場の農業機械部門の農業機械担当エンジニア. (メカニクと呼ばれることが多い).

② 技術の範囲: トラクター. トラクタ用機械. デザインエンジン. オブホー. 保管管理が主であるが. 可能な場合はミルカー. シルワット. 電気を中心とするステーション内電気系統等の保管管理も求められる場合がある.

③ 業務の形態: 各牧場に常駐し. 時には草地にも出張し. トラクター. 車両等々の他. 各種機械の修理も担当する. 場長と協議の上. 日本人メカニクと協同して業務を行う. 牧場内の修理もあれば. 町の修理工場に持ちこたせ修理させることもある. 物の場合完全に修理できないかどうかの確認が必要である. 自分の技術の範囲. 専門とせし. 4人程度に割り振ることも出来るが. 場長と協議. 交渉し. 許可と費用が必要あり. 就業時間は原則として8:00~14:30であるが. 緊急時には夜間. 早朝. 休日(金曜. 祝祭日)の就業もあり得る. 加ダ. パートが居ない牧場にも. 忍耐強く活動が求められる.

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準. 学歴及び年齢: 本国では. 農業機械技術者(エンジニア)が育っていない. 加ダ. パートが居ない. 中卒の現場型職人が. 科学的思考に欠ける. 20~40才位.

⑤ 現地で利用できる機材: ガレージジャッキ. エアコンプレッサー. 溶接機(電気)等. 一部部品を除き大型機械. 工具に至るものはほとんど現地で調達出来る.

⑥ 第3国人等の配置状況: 同部門には西配置されている.

⑦ 使用する言語: アラビア語と習得するため. 英語. (訓練は英語). 日常業務はほとんどアラビア語.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国では. 農業機械技術者(エンジニア)が育っていない. 地位も低い. メカニクと呼ばれる現場タイプ上級職人は. 給与のより多い. 一般修理工場等に働きたいと考える. 牧場には仲介業者が. 酪農公園では. 農業機械技術者不足に悩んでいる. 従って. 今後派遣される農業機械隊と同様. 日常の業務を通じて. 基本的な機械の保管管理の習慣化. 毎日必要不可欠な機械等の修理のため. 及び同機械部門の地位向上のため. 隊員の派遣を強く望んでいる. 更に. 2ヶ国間の親善. 友好に.

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農業短大卒以上 (トラクター(含ゼネラルエンジン)及び非常機械等の修理経験2年以上)

上記技術の範囲に参考願いたい. 明確に社会的に協調性のある人物.

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 50年 8月 28日

125 農業機械

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) Maquinaria Agrícola	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 59年 7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia
(日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称: Centro Agrícola Regional de la Meseta Central Oriental (日本語名称 (東部中央高地農業センター)
所在地: トレウゴ Meseta Central Oriental 主要都市からの距離 (首都より20キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

トレウゴ他、6つの郡の農業改良普及を扱う

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

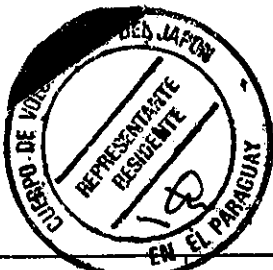
- ① 業務上の地位: 改良普及指導員
- ② 技術の範囲: 小麦栽培に関する農業機械の保守操作に係る指導助言
- ③ 業務の形態: 巡回指導現型
- ④ カウンターパート: José Francisco Cervantes Umaña 工学士
対象は改良普及員及び農民
- ⑤ 機械: 中心保有の機械はなし
- ⑥ 親子関係: なし
- ⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

傾斜地の多い地勢に合致した農業機械の適正化を企図している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒
穀物栽培農業機械系



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 / 月 日

125 農業機械

調査者氏名 CEMA リーダー(副隊長)

木村 睦生

(Handwritten signature)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグワイ	(現地公用語) AGROMECHANICA (日本語) 農業機械整備	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	57年7月	
(1) 配属先 ENSEÑANZA AGROPECUARIA, Y FORESTAL					
① 配属先名称(現地公用語): de MINISTERIO DE AGRICULTURA, Y GANADERIA					
(日本語): 農牧省 農林業教育局					
② 隊員勤務先名称: イタプア県ピラホ 日本語名称(農業機械化センター)					
所在地: CENTRO DE MECANIZACION AGRICOLA (CEMA) 主要都市(エカルション)から 63 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業機械化センター(CEMA)は研修施設の他に附属整備工場約 900m ² を有し農業機械の受託修理の実施を行うとともに地域農家に於ける機械の管理整備に肉する普及活動巡回指導等を実施する。なおCEMAにはパ国技術者の他日本人専門家も派遣					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (それぞれ居る) 整備工場(一種認定設備以上), 移動修理車及び連絡車巡回指導車					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 整備指導員及び普及指導員					
② 技術の範囲: 農業機械一般についての知識を有するとともに、農業機械士又は3級自動車整備士程度の技能を有する事。					
③ 業務の形態: 農牧省直営の修理工場の運営に参画する。主な業務としては、①巡回指導と②修理である。現在南部パラグワイ地方は、若手の農機師が2000台以上稼働しているが十分な機能を發揮していない。又保全管理も不十分である。各農家に対し、整備カードを配布し、故障の事前チェック、保全付原裝具の適切な装着等の巡回指導を実施する。又修理工場における修理工の修理を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 対象者として一般農業従事者					
カウンターパートとして、パ国の農業機械学校卒業生、及びバチアン熟練修理工を拜用の予定					
⑤ 現地で利用できる機材: 整備工場の設備、附属車両等総て利用出来る。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スポイル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CEMAは、日芭両国政府の協定にもとづく、技術協力Projectである。南部パラグワイ地方の農業機械化苦累を軽減する事が目標であるが、今後24年間で目標を達するためには、日本の専門隊スタッフでは不十分であり、且、パ国技能者ではこの業務を消化する技術者が不在である。日本の青年海外協力隊員の参加の必要を、パ国が認め、且、期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 特定の技能資格等は必要ないが、機械・電気の基礎知識 語学力(特に機械用語) → 取得している事が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

125 農業機械

記入昭和 58 年 2 月 28 日

調査者氏名 川添浩正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣開始	派遣予定	受入期限
ボリビア	(現地公用語) FABRICACION EQUIPO AGRICOLA (日本語) 農業機械製造	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	年 月	年 月	年 月迄に現地到着の予定

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): COOPERACION REGIONAL DE DESARROLLO DE CHUQUISACA

(日本語): チキサカ開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Cooperacion Regional de Desarrollo de Chuquisaca

日本語名称 (チキサカ開発公社)

所在地: La madona - 221-市

主要都市からの距離 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: 技術者 2 名 従業員 6 (Departament industrial)

ニ. 設備概要: チキサカ開発公社 全従業員 510 名、うち同セグメント 9 名 (上記)
車輛は全社で 50 台、そのうち 1 部を必要に応じて使用

(2) 隊員の業務内容:

農業機械の基礎研究及び指導を行う。
技術者 2 名と 1 名に、当地に普及させる農業機械の開発を行うことと
主眼としている

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

広大な土地を耕作するための農業機械を既存並に下等品等を産出し
開発し普及させることとしている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 日

調査者氏名 新 待 昭 治

141 家畜飼育

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Animal Husbandry	新規	(男) 1 人	1984年6月	
	(日本語) 家畜飼育	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Aklan Agricultural College
(日本語): アクラン農科大学
- ② 隊員勤務先名称: Aklan Agricultural College 日本語名称 (アクラン農科大学)
所在地: Banga, Aklan 主要都市 (KALIBO) から 10 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 教員数 約 70 名
学生数 大学 - 300 名
高校 - 500 名
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: ~~研修生~~ 十分な英語力があれば、インストラクターとなる。
- ② 技術の範囲: 山羊、牛、水牛 (カラバオ) 等の簡単な治療、飼養管理、飼料作物栽培。
- ③ 業務の形態: 山羊プロジェクト (1月現在約 80 頭) において、飼養管理及び飼料作物栽培を ~~担当~~ カウンターパート と共に行なう。さらに大学において畜産科目 (1科目 週 2 時間授業、3 時間実習) を担当することも可能。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: アクラン農科大学 農学科卒、25 才
畜産学科出身ではないので、家畜についてはほとんど経験、技術はない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。

- ⑥ 第 3 国人等の配置状況:
- ⑦ 使用する言語: 英語、現地語 (アクライン)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 80 頭をかかえる山羊プロジェクトが牧場の主要なプロジェクトとなっているため、大学側としては畜産隊員の中でも山羊飼養のエキスパートを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学の畜産学科卒の人が望ましい。25 歳以上。またワールドでの経験が 2 年以上の人。人工授精、獣医の知識があればなお良い。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

SEP. 15. 1983

記入 昭和 年 月 日

141 家畜飼育

調査者氏名

笹子 実

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スーラカ	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	59年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment (日本語): 青年雇用問題省					
② 隊員勤務先名称: NYSC 日本語名称() 所在地: バンガラ 主要都市(コンボ)から25キロ					
③ 事業規模及び内容: NYSCは15の訓練所を保有し、全口(農漁村)から15才から29才の青年男女を集めて6か月の訓練を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Instructor					
② 技術の範囲: 家畜飼育全般					
③ 業務の形態: 約20名のコース訓練生男女に対し、講義及び実習を通じて、初歩的教育を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 各科目にシンハリ人、日本人のカウンターパートがいる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: UNのDDSプログラムボランティア					
⑦ 使用する言語: シンハリ。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>農業の高校、短大、大学校、大学卒業生</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 SEP. 14. 1983 年 月 日

調査者氏名 笹子 実

141 家畜飼育

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
<u>スリランカ</u>	(現地公用語) <u>Animal Husbandry</u> (日本語) <u>家畜飼育</u>	<u>新規</u> <u>交替</u>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) <u>4</u> 人	<u>58年2月</u>	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
(日本語): 青年問題雇用省
- ② 隊員勤務先名称: NYAC 日本語名称 ()
所在地: 別添 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 別添
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Instructor
- ② 技術の範囲: 牛、豚、鶏、山羊、あひる等に関する中級以上の知識が要求される。
- ③ 業務の形態: 約20名の農業コース訓練生男女15名~29名に対し、講義及び実習を通じて、農業の初歩的教育を6カ月の訓練期間で行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 野菜、稲作等の科目別にスリランカ人、日本人隊員がカウンターパート。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 充分にある。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: UNのDDSプログラムボランティア
 - ⑦ 使用する言語: シンハラ
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- 農業高校、短大、文学校、大学の卒業生

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 2月 日

141 家畜飼育

調査者氏名 中垣長隆

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
カンタラ	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Office of the Prime Minister (日本語): 総理府					
② 隊員勤務先名称: Muplira District Council 日本語名称(ムフリラ市役所) 所在地: P.O. Box 798, Muplira 主要都市(ルサカ)から約400キロ					
③ 事業規模及び内容: 同市役所は現在約260haの買上げた農場(一部開墾耕作地)を所有している。同農場内において、食用作物、野菜、果樹、家畜飼育をしていくことになっており、現在農場長1名、技術者3人、10数人の労働者がいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、作業所、揚水ポンプ(農場内に川がある) スプリンクラー、小型ダム、鶏舎(1000~2000羽収容可)、トラクター、農具					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 市役所付農業技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 養鶏に関する知識・技術が是非必要。その他、ブタ、ヤギ、ヒツジ、牛、等に関する知識・技術を有することが望ましい。					
③ 業務の形態: 実務中心。現在同農場には肉用鶏飼育の鶏舎がある。(1000~2000羽飼育可能)。しかし、飼料をほとんど購入しており、その採算性が問題になっている。したがって、同農場内においての一部飼料の栽培をはじめ、防疫方法の確立等を等により、経営改善が望まれている。また、総じていく他の畜産の飼育可能性を精査し、小規模なテストとしての養鶏も考えていく。この場合にも飼料の一部を農場内で採る。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業専門学校を卒業した技術者3名					
⑤ 現地で利用できる機材: 養鶏2人分にはほとんどない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、ハジハ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方分権および地域農業振興政策の一環として各地の自治体が自前の農場を運営するところがある。いわば「食料増産」に向けての他の農民に対する広々意味でのデモンストラーションである。また「開墾地を確保しているような農場なので、また「V」に力が入っており、我々等が技術者さらには助産員についても実践的助言を求めらる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業大学校あるいは短大卒業以上、実務経験2-3年を有することが望ましい。					
* 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 9月 12日

調査者氏名 花田真人
駒形光彦

141 家畜飼育

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Inseminador	新規	(男) 3人	59年7月	
	(日本語) 家畜人工授精師(牛)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Universidad Nacional de Asunción
(日本語): 国立アスンシオン大学
- ② 隊員勤務先名称: Centro de Inseminación Artificial (MAG) 日本語名称(中央家畜人工授精所)
所在地: San Lorenzo 主要都市(Asunción)から 10キロ
- ③ 事業規模及び内容: 各地方都市周辺の小農(100頭以下, と言っても日本流に考えれば10頭以下に相当)相手に家畜人工授精を通じ乳牛の品種改良を図りつつ牛乳生産をあげ自家飲用による栄養改善, 余剰牛乳の販売による現金収入化を図る事業所所在地を中心に半径15km内を行動, 年間500~1000頭を対象
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 中央家畜人工授精所職員(大学より出向という形式をとる)
- ② 技術の範囲: 人工授精, 牛乳生産の為の飼養管理指導, 簡単な治療技術(例=乳房炎, 後産停滞)等幅広い範囲にわたる
- ③ 業務の形態: 午前・午後各1回発情牛のある農家から連絡を受け巡回, 人工授精を行なう。常にパラグアイ側カウンターパートと併に行動し, 2年後にはパラグアイ側が自力で業務遂行できるように方向づけに行く。発情は祝祭日に関係なく年中通じてあるのでカウンターパートを2名以上つけ, 隊員, カウンターパート 共に交替制で祝祭日を消化する事とする。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパート: 家畜人工授精師(牛) ... 国立種畜牧場又は家畜人工授精所で毎年研修卒業させる。他, 獣医師

⑤ 現地で利用できる機材:

1. 凍結精液保存用コンテナ(30ℓ入り), 2. ホルスタイン・フザーズ種凍結精液(必要量供給可能)
3. 冷媒の液体窒素(LN₂)

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: スペイン語, グアラニー言語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: パラグアイは典型的な農牧畜国であり, 牛の飼養頭数(肉用牛)は全人口を上まわっている程である。しかし, その大部分は小農であり, その生産性, 飼育技術は大変低い。特に酪農においては, まだまだこれからという段階であり, 政府としては, 牛乳による栄養改善, 遊休労働力の完全利用等による現金収入化を図るという方針を打ちだしたばかりであり, その為の技術者, 知識が絶対的に不足しており, 隊員派遣に資する期待は大である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件に 〇印で明記すること):

◎ 家畜人工授精師免許取得者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 3 月 11 日

141 家畜飼育

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボツワナ	(現地公用語) ZOOTECNICO	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 動物飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): COOPERACION REGIONAL DE DESARROLLO DE CHUQUISACA
(日本語): チェキサカ開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: MUYUPAMPA - CORDECH 日本語名称 (レパンパーチェキサカ開発公社)
所在地: MUYUPAMPA 主要都市からの距離 (アサより370キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 技術者2名 隊員8名 チェキサカ州全体を指導対象とし、約2200家族とコンタクトをとっている。技術者2名と獣医、動物学の専門家がある。
- ニ. 設備概要: ジープ2台 事務所 宿泊施設なし。

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 技術者2名と協力し、チェキサカ州全体の調査をおこない、実施計画の作成、指導をおこなう。
- ・ 増産、牛乳採取の研究。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

交通の便の悪い地ばかりで新しい技術指導がスムーズに進まない。従って各地区を巡回し、指導することに大きな期待をよせている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 4 月 24 日

調査者氏名 笹子 実

142 養 鶏

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) POULTRY KEEPING	新規	(男) 1 人	58年2月	
	(日本語) 養 鶏	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF SOCIAL SERVICES
 (日本語): 社会福祉省 SCAPPED MEN "KARUNASEYANA"
 ② 隊員勤務先名称: TRAINING CENTRE FOR SOCIAL HANDI 日本語名称()
 所在地: RIDIYAGAMA 主要都市(ゴール)から 10 キロ
 ③ 事業規模及び内容: SOCIAL HANDICAPPED MEN AND WEMEN に 社会的
 社会教育を 与えること。
 ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教育
 ② 技術の範囲:
 ③ 業務の形態: 収容者 600人 (男性 15歳-70歳 450人; 女性 150人)
 に対し 農業訓練を行うこと。収容者は最低2ヶ月
 から最高2年位。
 ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: AGRICULTURE OFFICER 年令不明
 男性 及び その ASSISTANT.
 ⑤ 現地で利用できる機材: 有

- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし
 ⑦ 使用する言語: シンハラ語、ゴール語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
 (男性) (専ら向学校 大学卒者のみ)

※ 事務局記入

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 6 月 27 日

142 養 鶏

調査者氏名 長 倉 孝



受入希望国名 (現地公用語) カンガ (日本語) 養 鶏	受入希望業種 (現地公用語) POULTRY FARMING (日本語) 養 鶏	受入希望人数 (男) 人 (女) 人 (どちらでも可) / 人	派 遣 予 定 訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
--	--	--	--

(1) 所 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 農業省 畜産振興局

ロ. 隊員勤務先名称:

日本語名称 (ミコングラ種畜農場)

所在地:

NIKOLONGWE

主要都市からの距離 (BTより30キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

種鶏舎5棟3000羽収容, 採卵鶏舎6棟5000羽収容可, 育成舎各種

7777-7777-7777種卵化 及び 6週齢の育成と 40配給, 全卵生産と出荷

ニ. 設備概要: 上 鶏舎他, 立体育雛器(6000羽), 半程育雛器10台(各500羽), 孵卵機4台
(電力3 日本製)各2500~2600入卵. 輸送用トラック3台, 屠殺済済

(2) 隊員の業務内容:

種卵採取卵化, 育雛育成, 採卵卵管理, 全般的な仕事

- ① 業務上の地位: 農場長, 畜産部内4-7位以下, 畜産部の現職全体管理担当
- ② 執行の範囲: 雌雄鑑別, 特殊採卵, 必要時, 全般的な仕事と経験が必要
- ③ 業務の形態: 正社員, 経営管理, 2ヶ月に1回, 陸上
- ④ 対象者の執行: 学歴, 以下は TECHNICAL ASSISTANT, SECONDARY SCHOOL 卒 30~40歳, 経験も 6ヶ月以上, 1年以上の経験と体系的な専門知識は不足
- ⑤ 利用する機械: 全般的な仕事は 1台のトラックで 1台のトラックで 調達可能
- ⑥ 対象国は: JICA
- ⑦ 使用言語: 英語, フランス語が話せるが便利

3 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 高卒 業務経験 4~5年 又は 大卒 経験 2年 以上
- 2. 種鶏管理, 卵化, 育成, 全般的な知識と経験が必要
- 3. 畜産関係の仕事に 最近 1年 以上の経験, 動力の供給と関係

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 12 日

調査者氏名 パラグワイ駐在員

花田真人

142 養 鶏

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグワイ	(現地公用語) Cria de Aves	新規	(男) / 人	59年7月	
	(日本語) 養 鶏	(交替)	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
(1) 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería. (日本語): 農 牧 省.					
(2) 隊員勤務先名称: Agencia de Servicio de Extensión Agrícola Granadeta 日本語名称(養鶏普及局) アカハイ普及事業所 所在地: Acabay 主要都市(アスツオン)から100キロ					
(3) 事業規模及び内容: 綿, トマト, サウキト"等農産物生産指導, 牛・豚・鶏等牧畜産指導及び" 婦女子対象の料理・栄養指導, 保健衛生知識指導 等.					
(4) 設備概要(写真添付が望ましい): 二階建普及事業所, ヲン7台, バイク二台.					
(2) 隊員の業務内容					
(1) 隊員の業務上の地位: 普及事業所職員					
(2) 技術の範囲: 養鶏全般... 特に774V接種, 鶏病早期診断と対応, 飼料配合に関する知識が広く用いられる.					
(3) 業務の形態: アカハイ内養鶏農家(普及事業所組合員)巡回指導が主体となるもアスツオン, サン・ロレンソにお向いてのKT, 774V, 配合飼料購入等が急まれる. 養鶏家を集めての指導集会も不定期ながら行われている.					
(4) 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カルテ4-110ト = 好 対象者 = 主に農村婦女子(10-50才).					
(5) 現地で利用できる機材: 石油使用の7卵器が数台あるも個人所有.					
(6) 第3国人等の配置状況: 米岡 知部隊長(1名(男子))					
(7) 使用する言語: スペイン語, グアラニ語.					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同地区における協力活動(養鶏)を二代, 5年目に入り現地事情に即応した活動がとられつつある. 業務の進行状況及びそれに付する評価等については川原君と"ありカルテ4-110ト育成"等長期展望に立上りから本要請が"好まれた.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 実務経験 3-4年 ○ 必須大学卒の必要はない.					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 2 月 28 日

142 養 鶏

調査者氏名 川 添 浩 正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) AVICULTURA	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AVICUICARIA (IBTA)
(日本語): ボリビア農業技術研究所

ロ. 隊員勤務先名称: IBTA - YUNGAS 日本語名称 (イタコカス研究所)
所在地: エンガス 主要都市からの距離 (エンガスより120キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 5人の技術者 2人の従業員 200羽の養鶏事業 経営者2名と相談して
指導している。指導者は 1人、コイカコ 各1人含まれる

ニ. 設備概要: 指導用ジープ3台 事務所、宿泊施設 2名分

(2) 隊員の業務内容:

鶏の飼料・病気に対する指導 鶏卵から成鳥までの指導 並びに
生産コストの分析、増産、運営に至るまでの指導を希望している

同国では、飼料価格が高・割に販売価格が抑えられていることから
養鶏農家にたいして苦しい状況にある。従って合理的な対策を
とる必要がある。これを指導してほしいとの事である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、チバス市場の卵は全8割程が、サン・ルズ (チバスの1000km) の
運ばれたもの。新鮮な卵を手に入れたら、この困難な状況である。従って同地では
卵生産者に生産コストを下げ、市場に近いところを有利にする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校の...は大学卒 (申請書には大卒のみ記載されているが IBTAに
直接内合したところ商卒でも経験豊富であれば可との事)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 2 月 1 日

145 獣 医 師

調査者氏名 山本 清通
新待 昭治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Veterinarian	新規	(男) 5 人	年 月	
	(日本語) 獣医師	交替	(女) 人 (男女不問) 5 人		

(1) 配 属 先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture
(日本語): 農業省
- ② 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Region X 日本語名称 ()
所在地: Cagayan de Oro 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: Region 内の畜産振興、特に酪農開発にともなう
牛の人工授精の普及、人工授精講習会の補助、人工授精師の技術向上
のための助言。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: provincial veterinarian.
- ② 技術の範囲: 家畜診療、牛人工授精、人工授精講習会での講師および実技指導。
- ③ 業務の形態: provincial veterinarian office に配属され、主にカガヤンあるいはマウバロス
で現在行われている酪農開発の補助、つまり講習会を両りたり、授精師といっしょに人工授精に行っ
たり、また診療を行うこともある。日本へ研修に行った獣医、人工授精師が 5 人いるので、彼ら
といっしょに、組織あるいは技術的な問題を解決して行くのが仕事の一つである。
獣医師が希望されるが実際の技術的には人工授精師でも可。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは人工授精、妊娠鑑定は
ほぼ完全、印象触診はや不完全。大学卒、27~33才。
- ⑤ 現地で利用できる機材:
人工授精関係の機材はほとんどに 55 にある。
- ⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし
- ⑦ 使用する言語: 英語、ビサヤ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1974 年から 5 人の隊員が断続的に派遣されている。
81 年から始まった酪農開発の中心地であり、現在人工授精を主に普及活動がはじまっ
ている。日本へ研修に行った獣医、授精師を補助することが希望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

獣医師免許 (人工授精師免許) 経験年数に拘わらない、新卒で
可かわない。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 18 日

調査者氏名

木内志郎 

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A. R. シリア共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師	新 規 交 替	(男) 3 人 (女) 人 (男女不問) 人	59 年 1 月 以降.	
(1) 配 属 先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform,					
① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業、農地改革省、酪農公園					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 日本語名称(国営牧場動物衛生課) 所在地: Dairy Station. <small>ダマスカス、ザルバ、シリン</small> 主要都市(ダマスカス)から約100キロ					
③ 事業規模及び内容: 酪農公園傘下の牧場は現在8ヶ所、古くは1960年設立、新しい所は1979年に完成した。今後1985年までに、11ヶ所の新牧場建設計画がある。各牧場では平均1000頭以上の乳牛(ホルスタイン、ホルズタル)を飼育している。各牧場の全従業員は平均100名前後、牛乳及び食肉の生産を目標としている。各牧場は草地と約200~400ha所有している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 必要最小限の設備は有しているが、老朽化しているものもあり、徐々に更新しつゝある。					
(2) 隊員の業務内容(就業時間は原則として8:00~14:30。緊急時には夜間、早朝、休日(祝祭日)の就業もある。)					
① 隊員の業務上の地位: 各牧場(衛生課)専属 獣医師。					
② 技術の範囲: 乳牛の一般診療(臨床)、人工授精及び妊娠検査、死亡中の剖検、各種ワクチン注射、現地人職員等の啓蒙、指導。					
③ 業務の形態: 各牧場に常駐し、当該牧場のシリア人スタッフ等と共にその運営に協力する。仔牛の死亡率の減少、受胎率の向上、畜舎衛生の改善と提言等が期待される。現地人の仕事に対する情熱も向上心が種々の要因により失われつつあるため、技術の指導と常々考慮し、実践に励み、その熱意と成果の可能性をアピールしながら、相互の向上心を引き出すことが、プロジェクトの成功の鍵となる。結核、IBR、乳房炎、口蹄疫、牛痘、ブルセラなどの急性伝染病に悩まれている。現在、同時に要請されている農業機械隊員が派遣される場合、生活と共に行うことになる。					
④ 対象者及びカウングターパートの技術水準、学歴及び年齢: シリア人獣医師の中には経験豊富な者が居るが、仲々定着しない傾向がある。短大程度以上の獣医、大卒の獣医師の専門知識は一般的に乏しく、実践技術は低い。年齢は25才~40才位が、必要最小限の機械は持っているが、薬品、注射器等は不足傾向にある。					
⑤ 現地で利用できる機材: 低い。年齢は25才~40才位が、必要最小限の機械は持っているが、薬品、注射器等は不足傾向にある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 各牧場には今のところ配置されていない。(これ以外の牧場の近くには酪農従事者が1~2名、センターの建設中であり、ミニオランダの専門家が若干名居る。)					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語。(訓練は英語) (若干名居る。)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の獣医師は、日常業務が厳しいこと及び総合的が少ないなどの理由で、仲々定着せず、酪農公園は獣医師不足に悩んでいる。従って、今後派遣される獣医師隊員同様、日常業務の実践を通じてシリア人獣医師等を啓蒙する意味で隊員の派遣を強く望んでいる。更に日シ両国の親善・文化交流の普及も一つの背景の一つである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒の獣医師の資格取得者。 (乳牛の診療経験1年以上有る者) 明るく社交的、協調性に富む人物。25才以上の年齢。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 日

調査者氏名 吉川 浩史

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) Mifugo wa Mifugo	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 獣医師(病理)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Shirika la Ufafiti wa Mifugo Tanzania
(日本語): タンザニア畜産研究公社
- ② 隊員勤務先名称: Animal diseases research Institute 日本語名称(家畜疾病研究所)
所在地: Dar es Salaam - Tembe 主要都市()から #口
- ③ 事業規模及び内容: 職員約 200人 細菌・病理・ウイルス・原虫・寄生虫、外科、化学の sections と 肉加工製造部門からなる。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 隊員が配属される病理セクションには 日常検査の機械は充分。

(2) 隊員の業務内容 : 牛・豚・鶏等の病態鑑別

- ① 隊員の業務上の地位: Scientific officer 病理セクション
- ② 技術の範囲: 剖検・剖検した。鏡検した。 (標本はタンザニアで作成)
- ③ 業務の形態: 病態をとりわけ、剖検し、各セクションに材料を送る。病理セクションの鏡検。各県に送る家畜の病態施設と同じ。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 技術水準: 日本並み, Nairobi 大学 30才, 日本の家畜試験を研修を受けた (83.5 ~ 87.11.)

- ⑤ 現地で利用できる機材: 現在 特別 不足している機材はない。顕微鏡 1台のみ BHP, ショット-ウ: ミト-type. 顕微鏡と真用カメラ。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし

- ⑦ 使用する言語: 英語, スワヒリ語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 背景 - 獣医師不足。病理セクションは当所の重要な存在であり、全隊員の2/3を占める獣医師を期待している。付添のタンザニア養成学校での授業もできる(た)方がよい。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 獣医師 (Master または PhD が望ましい) 英語で授業ができること スワヒリ語で日常会話ができること。動物と共に鶏の飼育ができること (病理を専攻した人) 顕微鏡経験 3年以上。

※ 事務局記入

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 9 月 15 日

145 獣 医 師

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	VETERINARY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 獣医	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LIVESTOCK DEVELOPMENT. 畜産開発省
(日本語): TANZANIA LIVESTOCK DEVELOPMENT AUTHORITY. タンザニア畜産開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: KITULO DAIRY FARM 日本語名称 (キツロ酪農場)
- 所在地: P.O. BOX 1114 MBEYA 主要都市からの距離 (ムンバより 80 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 標高 2740m の山頂に受用面積 400km² の大きな園地で肉牛と山羊の酪農牧場を営む。各エゾットには 20 頭以上の牛 (肉牛仔牛を合計約 2000 頭) の生産。育成搾乳 (月量約 1000kg) を行っている。従業員数約 140 名。
- ニ. 設備概要: 各種大型農業機械。トロッコ線を修理する。各エゾットにはシンキエグマシン。水ポンプマシンがあり水道は水圧ポンプ。電気はジェネレーターを使用。簡単な手術用器具はあり。薬は不足。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 農場の獣医
2. 技術の範囲: 農場で飼育している牛の早期疾病の発見及び治療である。主な症例として仔牛の場合、肺炎、白痢、肺虫症、成牛の場合には、肝臓、蹄虫症、強内臓虫、条虫症、乳房炎、蹄腐病、蹄炎等の治療が中心である。
3. 業務の形態: 現地人ドクターと二人で全エゾットを巡回する。各エゾットには 1 名のブリーダー (VETERINARY TECHNICIAN) に指示して投薬させたり、管理面では牛舎の担当者で指示する。(手術とその他技術的: 繁殖率に肉としては直接担当し、死亡牛の病理学的な検査、診断も行なう。
4. 対象者数: カウ・ポイント: 各エゾットは 800 頭 (平均数) カウ・ポイントは 100 頭。
5. 現地で利用できない材料: 手術用器具は一般備品でなく、抗生物質を中心とした薬剤の入手が不可能。
6. 使用する言語: スワヒリ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の家畜保有数及び飼育の経済に大きな影響を及ぼしている。この家畜の飼育、診療に携わる技術者が少なく、留学に類、人材不足に悩んでいる。従って、同農場には、現地出身の獣医が活躍している場所でもあり、その育成を期待している。
(56/57 年度に海外隊員を要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒の獣医師免許取得者
- ② 定積経歴 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 20 日

ザンビア

145 獣 医 師 志 村

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ザンビア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 56 年 8 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56 年 10 月
	(どちらでも可) 1 人	受入期限 56 年 1 月迄に現地到着のこと	
(1) 配 属 先 Ministry of Agriculture and Water Development			
Ⅰ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services (日本語): 農業及び水資源開発省 獣医及びジエラ制御事業局			
Ⅱ. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office (英語) 日本語名称 (州獣医事務所) 所在地: P.O. Box 16, Chipata 主要都市からの距離 (市内より 約 100)			
Ⅲ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に 8 箇所のある地方獣医事務所を有し、病理解剖を主として 診断、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方、この野外に新中央研究所が 1979 年 に完成し、病理解剖、組織切片の鏡検、培養、細菌検査、血液検査を主に行っている。			
Ⅳ. 設備概要: 1979 年に補入隊事務所より特別機材供与として家畜衛生検査用機材 (顕微鏡送心 金顕微鏡、修形器、蒸気滅菌器、乾燥滅菌器、電気消毒培養器、蒸留器、冷却器) を寄贈され、各地に獣医			
(2) 隊員の業務内容: 事務所にも設置されている。他に、一定の設備はあるが、機材については修理の必要あり。 又、薬品類 (ワクチン、注射液、消毒液) が不足している。実験室はあるが充分とは言えない。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位: 獣医師として Provincial Veterinary Officer の監督下にある。			
② 技術の範囲: 家畜の診断 (農場への往診、診療所での小動物の診療も含む)、病理解剖、 (大動物)、ワクチン注射、寄生虫検査、血液検査、牛の妊娠鑑定、事務所 業務 (局長への英文報告書作成)。家畜は主として (肉牛、羊、山羊、豚、鶏 等) が対象となる。			
③ 業務の形態: 農家、農場への往診業務、同事務所実験室での解剖検査等の業務、 及び事務所業務。			
④ 対象者及びその月一単位の技術水準、学歴及び年齢: 獣医学は当国にはないが、家畜飼育士、獣医 補助等のための養成学校卒業者が対象となりうる。			
⑤ 現地に利用可能な機材: 上記寄贈機材の他、一定整っている。大動物用解剖機材等一式を持参 して行く。産科用係機材、薬品 (大動物用鎮静剤) も当座の分持参の業			
⑥ 職場に於ける外国人及び日本人の配置状況: Provincial Veterinary Officer - 1 人、日本人は			
⑦ 使用する言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
外国人ボランティア (特にヨーロッパ系) の帰国に伴う切り替わり業務として 1978 年より継続して派遣 している。ザンビア人獣医師 6 名 (獣医局長も含まれる管理職に於けるのはこの現場の業務ではない) 外 人ボランティア約 20 名がおり、獣医大学の近い現在、ボランティア又はボランティアに類している。ザンビア人獣 医師の不足と家畜の病気等のため、事務所での特別機材供与、前住隊員の業績が高く評価され、期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
(○) 獣医師免許 (大動物) (大動物に関する知識及び診療経験 3 年以上) (外人ボランティアでも ない) 又は英文レポートの撰取が必要とされるため、英語力 (専門用語も含む) も要求されている。 地味な単純作業に耐えられることと、当然のことながら、強固な精神力と定着性を要求される。 (○) 卒業及び普通免許取得のこと。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 9 日

145 獣 医 師

調査者氏名

中 垣 長 睦
秋 原 博



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Veterinarian	新規	(男) 人	59年10月	
	(日本語) 獣医師	(交替)	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配 属 先

- ① 配属先名称(現地公用語): Department of Veterinary and Tse Tse Control Service
(日本語): 獣医、~~左~~防疫局(農業水開発省)
- ② 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Animal Health 日本語名称(ザンビア家畜衛生短大)
所在地: P.O. BOX 237 Mazabuka 主要都市(ルサカ)から125キロ
- ③ 事業規模及び内容: 学生数 50~60名 スタッフ 10~13名 実習農場(牛豚鶏)
コース数 3コース (Vet. assistant, Vet. laboratory Assistant, Tse Tse Control assistant) 敷地 約60ヘクタール
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室 x 2 実験室 x 2 動物病院 解剖室 実習農場
学生宿舎、食堂、各スタッフの事務所等

(2) 隊員の業務内容

- 短大学生に対する講義、実習 実習農場の家畜の管理 治療
- ① 隊員の業務上の地位: Veterinary Officer (現在、校長の次の地位)
- ② 技術の範囲: 獣医学全般、特に実習を受け持つ場合が多いので実際に学生にやって見せる技術力が要求される。
- ③ 業務の形態: 教室での学生に対する講義、実習農場での実習指導
実験室の管理、運営、取扱いのカウンターパートへの指導、
隣接する Regional Diagnostic Laboratory で開始される J.O.C.V 獣医によるプロジェクトへの参画

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生: 高校卒業し、Form 5 取得者 20~30才

カウンターパート: 海外留学経験者(イギリス、オーストラリア等)

⑤ 現地で利用できる機材: 日本(J.I.C.A)から供与された機材(1200万円相当)、ほとんど
の検査機器(一般検査用)、病理切片標本作成機材、X-RAY 装置。

⑥ 第3国人等の配置状況: 校長-ウガンダ人 エシヤト人コントラクター 1名

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 獣医師絶対数が不足しているザンビアでボランティア
獣医がその数の少なさをカバーする以外にない。特に日本人獣医師は理論だけ
ではなく実際にやって見せることが出来るのでその方面での期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(獣医師免許) 経験 3年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 日

調査者氏名 小瀬川 修



145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Veterinary Officer (日本語) 獣医師	新規 <u>交替</u>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	59年9月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services (日本語): 農業・水資源開発省、獣医及びツエツエ制御事業局					
② 隊員勤務先名称: Regional Diagnostic Laboratory 日本語名称(地域家畜診断研究所) 所在地: マザブカ 主要都市(ルサカ)から120キロ					
③ 事業規模及び内容: 1979年ルサカ郊外に中央研究所ができるまでは、ここが研究の中心であった。現在は、特に南部州各地から集めてくる家畜の診断、ワクチン接種及び病理解剖を主な業務としている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実験室の設備は充分とはいえない。また、薬品類(ワクチン、注射液、消毒液)が不足している。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 獣医師として、研究及び家畜の診断、検査等を行なう。					
② 技術の範囲: 診療、ワクチン注射、寄生虫検査、牛の妊娠鑑定。 家畜は主として肉牛、羊、山羊、豚、鶏が対象となる。					
③ 業務の形態: 研究所に持ちこまれる疾病家畜の診断、治療及び解剖。 協力隊獣医隊員チームによる各種疾病調査プロジェクトへの参加。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは養成学校卒(短大程度)の獣医補助手					
⑤ 現地で利用できる機材: 協力隊事務局より家畜衛生検査用機材が特別機材として寄贈されたが、中央研究所の新設に伴い、こちらの方に全ての機材を(の研究所に)移したため、現在機材は不足している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: インド人コントラクター1人					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガンビアに獣医大学のない現状(日本の無償協力でガンビア大学に獣医学部を設置することが決まっている)、獣医師不足は大きな問題で、その不足をコントラクター又はボランティアに頼っている実情にある。しかし、ガンビアナイセーションをうまく進行させるためにも、協力隊員の協力が大いに求められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>獣医師免許</u> 、実務経験3年以上あることが望ましい。 臨床検査(血液検査、糞便検査)に詳しいとよりよい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 日

145 獣 医 師

調査者氏名 中垣長睦

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンセア	(現地公用語) Veterinary Officer (日本語) 獣医師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	年 月	
(1) 配属先 { Department of Veterinary and Tsetse Control					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development (日本語): 農業水資源開発省 獣医・ツエツエ局					
② 隊員勤務先名称: Provincial (or District) Veterinary Office 日本語名称(州の(地)家畜保健所) 所在地: 所在地は南部州の公算大 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 同局は各州に家畜保健所をもつ。州内に地保保健所もある。同保健所は、家畜の診察、治療、予防ワクチンの注射、寄生虫検査等を主な業務としている。この州保健所で顕示できるものは、ルガカ郊外の Balmora					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): の国を中央獣医学研究所がこれを行う体制によって いる。(この linkage は未だよく理解していない)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 獣医師 (家畜保健所長の下で実務を行う)					
② 技術の範囲: 獣医学一般についての知識、診察技術、特に病畜、寄生虫等に関する知識が豊富であることが望ましい。(家畜の)					
③ 業務の形態: 家畜保健所に勤務し、家畜の診察、予防ワクチンの注射、寄生虫検査等の実務に従事する。必要に応じて専攻へ行診に出かけることもある。南部州配属には牛は大量(牛)中心となる。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医師の資格をもつカンセア人はごく少数で、家畜飼育、獣医助手が対象とされている。 (その資格を有する)					
⑤ 現地で利用できる機材: 大動物用の解剖機等は一部ある。しかし、サセツツイたり、使えないものも多い。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 州において異なるが、インド人、スリランカ人、チェコ人、エジプト人、獣医					
⑦ 使用する言語: 英語 (ほとんどの獣医は外国人)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カンセアには獣医を育成する教育機関がなかった。(1983年よりカンセア大学に獣医学部(1年生から入学)今年6年間でやっと数年の獣医が得られる状況なのでまた数年は外国の協力を頼らねばならず、隊員にもその実績が留められ期待がかけられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 2-3年					
○ 獣医師の資格を有すること。実務経験を有すること。が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 31 日

調査者氏名 山崎 康人

145 獣 医 師

生井 年緒

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Vétérinaire	新規	(男) 1 人	59年9月	
	(日本語) 獣医師	(交替)	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): *Ministère du Développement Social*
(日本語): 社会開発省
- ② 隊員勤務先名称: *C.F.P.A. de Guérina* 日本語名称(農業改良普及所)
所在地: *B.P. 24 Bignona (Guérina)* 主要都市(*Ziguinchor*)から 25 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 敷地 100 ha. 飼育牛 25 頭, 青年農業従事者の短期(1年)教育及び指導員の養成, 現在研修生 10 名のみ, 指導員の養成は今のところ昨年で終了, 教員数 10 名。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所, 教室, 資材置場(30m) 2 棟, 牛舎, 豚舎, 鶏舎, 牛圃地, 職員用宿舍 5, 研修生用宿舍 5, 井戸 1。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 指導員 (*instructeur*)
- ② 技術の範囲: 獣医学上の技術及び家畜飼育技術
- ③ 業務の形態: 研修生に獣医畜産上の知識を教えること。現在関係する機材がないことから机上の知識習得に終わっているが本来は実際の技術を見せる方が指導がしやすく、穀物栽培では現にこの方法がとられている。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 25~30 歳の青年, 学歴はさまざま, 学校に行ったことがないものから高卒までバラツキがある。カウンターパートはいない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 獣医関係の機材はほとんどなく, 家畜保健所が近くにあるが可動しているのは注射用具と去勢機位のものである。

(農業用)

- ⑥ 第 3 国人等の配置状況: 中国人(近くにタム建設現場あり), フランス人, スイス人等。
- ⑦ 使用する言語: フランス語, ウロフ語, アシオラ語
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1960 年代初期に設置された後, セネガル人のみに運営されて来たが機材の老朽化, 予算の増加等がかんばしく, 事業そのものが先細りとなってきたが新たなプロジェクトが生まれ, 予算要求中である。今後農業・畜産部門のセンターとして期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○ 獣医師

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58年 9 月 12 日

調査者氏名 花田真人

駒形光孝

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Veterinario	新規	(男) 1人	59年7月	
	(日本語) 獣医師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Universidad Nacional de Asunción

(日本語): 国立アスンシオン大学

② 隊員勤務先名称: Estancia Barrerito del M.A.G.

日本語名称(国立種畜牧場)

所在地: Misiones

主要都市(Caapucú)から 20 キロ

③ 事業規模及び内容: 面積 10,000 ha, 飼育頭数(牛) 7,000 頭(ホルスタイン, フラマン, サンク・アトルテイス種等)の種畜牧場における種畜(自然交配用種牝牛, 種牝牛)の生産及び販売。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 国立種畜牧場職員(大学より)出向, という形をとる。

② 技術の範囲: 種畜生産に関する獣医技術... 特に臨床方面... 他に繁殖, 衛生, 管理, 寄生虫も必須。

③ 業務の形態:

パラグアイ側カウンターパート, 獣医師と共に種畜牧場の牛群の管理を行なう。... 品種改良工特に有用なセー系ホルスタイン, フラマン, サンク・アトルテイス種の牝・牝牛を生産し中規模以下の農家に有料配布する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパート: パラグアイ人獣医師。

⑤ 現地で利用できる機材: 必要な機材は全て揃っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。

⑦ 使用する言語: スパイン語, グアラニー語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当牧場の周囲にもいくつかの官営牧場が設置されておりこの一帯がパラグアイにおける種畜(牛)生産の中心地帯となっている。全パラグアイで現在600名程の獣医師が活動中であるが種畜生産に関する技術・知識を有する獣医師は数も少なく日本人派遣専門家がその一翼を担っているのが現情。確たる技術を持ち(おもに機動性に富む)獣医師が望まれ今般のJ.O.C.V.に対する周囲の高い評価より本要請がなされた。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 獣医師免許取得者... 特に臨床経験者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 日

152 漁業協同組合

調査者氏名

手代木宏、藤崎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de Cooperativa pesquera (日本語) 漁業協同組合指導	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	57年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): DIRECCION DE FOMENTO COOPERATIVO (日本語): 協同系組合助成局					
② 隊員勤務先名称: Cooperativa de "Perla del Caribe" Cooperativa de "UNION COLONENA Ltda" 日本語名称(オマア漁業協同組合連合会) 所在地: コロン フロン オマア トルテ-7 主要都市(テグシガルバ)から 350 キロ 680 キロ					
③ 事業規模及び内容: 各連合会は 4隻の 19t クラスの漁船, 及びそれに供う漁具資材, 冷凍設備をもつ。これは 国 零細漁業発展プロジェクトによって購入されたもので, 今後, 水産物流通整備に供い水産物運搬車も購入される予定である。現在は, それら設備を用いて, 各組合とも					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 近郊都市に販出している。各連合会とも組合員は 60名前後であるが, 実際活動しているのは, はるかに少ない。直接組合運営には, 4~5人の役員が当たっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業改良普及員					
② 技術の範囲: 漁業協同組合の管理と運営方法の知識, 水産一般知識					
③ 業務の形態: 従来カーで行なわれていた漁業が, 19t クラスの漁船で行なわれるようになった。為, 事業規模が拡大し, それに供い, 各連合会とも支出, 収入の額が大きくなりつつある。そのため, 実際漁民だけで組合を運営していくには, 知識不足で非常に危険な状態にある。そこで隊員は, 組合収支を黒字にもっていくよう, 的確な助言をし, 又, 増大した漁獲物の販出を, すみやかに行なっていくよう助言する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 経験的に漁業を知っているが, 水準は低い。高卒程度(計算はほとんどためである) 30~40才					
⑤ 現地で利用できる機材: 簿記に関する各種伝票, 集計表					
⑥ 第3国人等の配置状況: 4人, ヘルパーの専門家(首都に在住)					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 組合事業の拡大に供い, それに対応できる人材が当国には非常に少なく, 当国の隊員に対する期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 水産大学出身者, 又は大学経済 系 又は商学部出身者。2ヵ月程度の技術研修は日本で行なう事。2. 大学在学中 体育会に属し, 4年間運動を続けた者 3. 自動車普通免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 日



調査者氏名

中垣長睦

153 村落開発普及員

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Rural Development Officer (日本語) 村落開発普及員	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	59年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Social Development (日本語): 労働社会局長官, 社会開発局			Ministry of Labour and Social Services		
② 隊員勤務先名称: Social Development Staff Training College 所在地: Kitue 市 or Monze			日本語名称 () 主要都市 () から キロ		
③ 事業規模及び内容: 村落開発に特化する。社会開発局の職員研修大学であり, Kitue と Monze におり, 大学卒の6人のスタッフがおり, 村落開発の分野, 手法等につき指導している。村落での実地研修と教室での指導は半々, 研修対象者は50-55人, 研修費は200万円程度。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 1962年に建てられていて () (敷地面積は500坪程度) 社会開発局は, 1982年卒に Department of Community Development & Department of Social Welfare が合併して新設となり 50-60人の職員を有する。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 社会開発局における職員研修大学教官					
② 技術の範囲: 途上国における村落開発の対象となる種々の分野 (農業生産物の改善, 家内労働の軽減, 衛生改善, 水の供給等々) に対する取り組み方, 開発手法について指導。					
③ 業務の形態: 社会開発局の職員研修大学において, 村落開発のやり方, 対象分野の 概年率について指導教授すると共に, 実際に村落に入り, 具体的にその村落における開発可能な手法などを調査し, 開発を実施する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は, 社会開発局の職員と Form 3-5 (卒業生) の職員採用対象者, カウンターパートは大学卒					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語 および現地語 (バシバ, トニカ, ニヤンシヤ等)					
⑧ 受入希望の背景と受入国の期待: 社会開発局は, 500人近い社会開発普及員を擁し, 村落開発のため, 100人近い全国各州に配置している。この普及員は, 成人に対する識字教育, 保健福祉, 婦人内職, 身障者の社会参加, 老人の対策等に係ると共に, 村落における生活改善のため, 健康増進の改善, 衛生の導入, 衛生改善, 水の供給, Rousing 等々について村落の人々と共に考え, その普及に従事している。より具体的な開発対象 (内職普及) はその総論, その実施方法について普及員の知識・手法等					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) 大学卒が望ましい。 英語がよいこと。 村落開発についての知識を有すること。			に於いての改善, 質の向上が求められており, 隊員に対する期待も大きいものがある。		
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 16 日

調査者氏名 小松 純司

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Food Technology (日本語) 食品学	新規 交替	(男) 1人 (女) 1 (男女不問)	59年 1月	
(1) 配属先 Ministry of Education					
① 配属先名称(現地公用語) Institute of Science & Technology, Tribhuvan University (Dharan Campus) (日本語): 同大学理工学部 たらん校舎					
② 隊員勤務先名称: 同大学理工学部食品学科 たらん校舎 日本語名称() 所在地: ハテシヤル, たらん 主要都市(ゼトナガル)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: — 別添 47 エ 27 の 2 を 参 照 の 27 —					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: (1) Lecturer (工学部学生に対し、食品学についての一般講義)					
② 技術の範囲: 食品学研究室での実習指導並びに食品学についての野外実習(研究)等の指導である					
③ 業務の形態: (2) Senior Lecturer (工学部学生に対し食品学についての一般講義 並びに同食品学科の研究室、及び諸作業の指導(講義)並びに同研究室にある Gas Chromatography, Calorimeter, Spectrophotometer 等の最新の研究用装置の操作指導等である					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: Gas Chromatography, Calorimeter, Spectrophotometer, その他。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 以前に英国より 2 名、インド人 1 名					
⑦ 使用する言語: 英語: 英語で講義(指導)するゆえにかなりの英語力を必要とする。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食品学の担当講師(江ア、江ア)が欠員しており、一日も早く派遣に欲しいと強く要望がある。同大学食品学科で協働活動をしている海外派遣の評判が良く、その内連から今回の要請に同意の経済がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学(4年)食品学科(修士)以上、内連学科にて指導経験1年以上、又農学修士号を取得しているか、必要条件に満たない。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 19 日

調査者氏名 水 上 雅 子
小 松 紀 子

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Zymology	新規 交替	(男) 2 人	59年7月	
	(日本語) 発酵食品 食品加工(応用微生物)		(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): कृषि मन्त्रालय
(日本語): 農業省 केन्द्रीय खाद्य अनुसंधान काला 2
- ② 隊員勤務先名称: 中央食糧研究所 Central Food Research Institute (日本語名称 Quality Control)
所在地: カトマンズ, バンバルマハール 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 国立の食品研究所で、カトマンズでは Pilot Plant, Neutral Research and Development Section, Quality Control の3分野があり、その他支所「ハート」(穀物検査)「ダラン」(乳製品検査)がある
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): マイクロスコープ、オートクレーブ、インキュベーター、エレクトロクバランス、フリーザー、PHメーター等(大学における実習設備程度は完備している)

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 3rd クラス オフィシャル
- ② 技術の範囲: 農芸化学 応用微生物 又は それに相当するもの
- ③ 業務の形態: フィールドでサンプル(在来のネパール発酵食品等)を採取し、オフィスへ持ち帰り分析する
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 有, ただし人材は未定であるがマスター卒、あるいは学士程度の人物をボランティア1人につき1人つける事を計画中
- ⑤ 現地で利用できる機材: 上記の設備概要参照, その他のセクションに示している機材も使用可能

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 無
- ⑦ 使用する言語: ネパール語
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国連大学により東京農大で博士号を取得したDr. カルキからの要請であり、ネパール在来の発酵食品(例: アムラック、漬物、キネマ: 納豆に類似)の調査、分析を行ない、ネパール食品に還元しようという主旨

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

四年制大学 農芸化学 応用微生物専攻 又は それに相当するもの(新卒可)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 16 日

調査者氏名 赤星 則昭、村尾 守彦

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Conservación y Preparación de la carne (日本語) 食品加工(食肉加工)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 男女不問 1 人	59年10月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INFOP: Instituto Nacional de Formación Profesional. (日本語): 国立職業訓練所					
② 隊員勤務先名称: INFOP 日本語名称(国立職業訓練所) 所在地: テグシガルパ市内 主要都市(テグシガルパ)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 客主要都市に INFOP 職業訓練校があり、さまざまな分野で技術と身に付けるべく授業を行なっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容 教室内外に於て理論及び実習を行なう。又カウンターパートの養育。					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 農村地帯では機械も何もなく、自分の手だけで行ない、高度になると工場等での技術指導を深く教える事が必要					
③ 業務の形態: 客主要都市にある INFOP に、於て生徒を集め、行なう授業、移動講習会のおよび農村まで行って授業を行なう 工場などへ行って技術指導をする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 学歴、高校卒程度 技術は最初から教える必要あり。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在のところナシ、請申中。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊の他、ミッシヨニエスパーニャ、ドイツ、スイス等					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 来年(84)年から移動講習会のおよび食品加工について新らしいプロジェクトを組むという話がある(INFOP側で)、現在、協力隊の要請でサンペドロ・スエラに食品加工実習場を建設中で、INFOP側もこの新らしい講座を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学農学部(畜産、食化、農芸化)卒)を希望し、経験年数3年位が必要					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 10 月 15 日

調査者氏名

岩間 勇
長 好 日 上 実

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) PROCESAMIENTO DE ALIMENTOS (日本語) 食品加工(野菜果物)	OS規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	58年7月	

(1) 配属先 ホンデュラス国立職業技術行方

① 配属先名称(現地公用語): Instituto Nacional de Formacion Profesional
(日本語): 国立職業技術行方

② 隊員勤務先名称: Oficina Regional Nor-Occidental (日本語名称(北西部事務所))
所在地: San Pedro Sula 主要都市(S.P.S.)から 8 キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術行方(INFOP)は国家開発計画に基づき、産業振興の基礎となる人材養成(農・工・商の分野)を目的として設立され、1979年より本格的な活動を開始された。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 食品加工部門に於いては、現在 San Pedro Sula に食品加工実習場を建設中であり、協力隊より機材援助の計画あり

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 農牧教育課 指導員 (Instructor)

② 技術の範囲: 高度な技術は必要としない。野菜・果物のビン詰・カン詰についての基礎知識と実務経験が必要である。

③ 業務の形態: 訓練センターの時間割は 8:00 A.M. ~ 4:00 P.M. 4:00 P.M. ~ 8:30 P.M. の内、後者 7 時間。隊員は農牧教育課に配属となり、初級教育型の巡回指導を行なう。(1回の講習会に 1~3 週間を費やす。巡回指導) 現在 San Pedro Sula に食品加工実習場を建設中であり、これが完成すれば、ここにおいて分析・加工の実験等を行ない、講習会プログラムとこの実務が可能となる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 野菜ビン詰生産者組合の組合員、とその子弟。一般市民への指導も可能。カウンターパートは農畜卒以上、25 歳前後。

⑤ 現地で利用できる機材: 指導に必要な機材は協力隊より援助の予定。

現地では鍋の沸騰水中でのみ殺菌を行ない、ビン詰製品としている。pHメーター、糖度計等の特殊な機材はない。

⑥ 第3国人等の配置状況: サン・ペドロ・スーラ。セントロ・フィオーラ果にドイツ人専門家

⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスは第一次産業を基幹産業としており、食品加工部門の開拓により、第一次産業の生産性向上と第二次産業の振興が期待される。当国においては、食品加工工学を学ぶ教育機関は、パン・アメリカン農業高校にかぎらず、その他の農業高校・短大・大学には存在しないため INFOP に建設された食品加工実習場に向け、強い期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校(食品関係学科)卒業以上、実務経験があることが望ましい。食品の特性、加工工程を理論的に指導できるもの。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58年 2月 28日

161 農産物加工

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) AGROINDUSTRIA DE FRUTAS Y HORTALIZAS	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果物及び野菜の加工指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO BOLIVIANO DE TECNOLOGIA AGRICOLA (IBTA)
(日本語): ボリビア農業技術研究所
- ロ. 隊員勤務先名称: IBTA - YUNGAS 日本語名称 (インテコラス研究所)
所在地: エンガス 主要都市からの距離 (ラパスより120キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 5人の技術者, 2人の従事員, 200家族の専従兼副業従事者を対象として指導している。指導先はエンマス, コロコロ村も含まれる。
- ニ. 設備概要: 指導用シマ3台, 事務所, 宿泊施設2棟。

(2) 隊員の業務内容:

果物と野菜の品種改良並びに果物を工業産品として加工するための指導。
同地域 エンガスはラパス市に対する農産物の供給地となっている。
ただし、ラパスから120キロ程隔れているため、雨期になるとしばしば道路が切断され、通行不能となることもある。
このため、状況の悪化に果物、野菜を加工し、保存する必要がある。
同地域の経済開発に役立つものと見られる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ラパス市は供給地として有名であり、同研究所の発展に力を入れる現状がある。
(ラパス市は果物、野菜) 2がある

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校の3年大学卒。(申請書には大卒のみと記載されているが、経験豊富であるため高卒でも可とのことである)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

166 水産物加工

記入昭和 58年 8月 25日

調査者氏名 河野文男 高塚正史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) Proceso de Productos Marinos	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 水産物加工	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年 7~10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Nacional de Fomento Cooperativo
(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: Coop. montecillos 日本語名称 (コモンテシ-リヨス)
所在地: サン-ホセ 主要都市からの距離 (へより キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 畜産部と水産部を有し、水産部では冷凍魚介類の製造、販売を行っている。主たる魚介類はタラ、エビ(小)、コルビーナ(タラの類)、ウナギ、サメで月産400トン

ニ. 設備概要: 魚介類加工用サン-ホセ1カ所
製氷場 ケホス、コルブート、ニコヤの3カ所

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 水産部所属技術指導員

② 技術の範囲: 原材料の入手選定、貯蔵輸送、加工方法に
係る助言

③ 業務の形態: 現場型

④ カウンタ-パート: 未定、指導対象は水産部の技術員全体

⑤ 機材: 中型製氷機、冷蔵タンク、冷凍室、
接触板半凍結装置、輸送用中型トラック

⑥ 本国人: 無

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

肉依存型の食生活を廉価で栄養価の高い水産加工物の利用により改善する。関連産業の育成により雇用機会の増大を図る。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年11月10日

181 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish Capture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Panay State Polytechnic College
(日本語): パナイ国立技術大学

ロ. 隊員勤務先名称 Panay State Polytechnic College, Panay, Iloilo City
所在地: Panay, Iloilo City
日本語名称 (パナイ国立技術大学) ホンテパドラ分校
主要都市からの距離 (Davaoより25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 55年12月に4つの学校を統合して国立大学となった。総学生数は約4000人(高校、大学を含む)のうちホンテパドラ分校は1,500人弱であり、同分校は水産教育が中心。

ニ. 設備概要: 25万ペソの予算で小型船を買い予定であるが、まだ具体化していない。(1ペソ = 約30円)

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 大学の講師。
- ② 技術の範囲: 漁具漁法に関する一般的知識(大学で教えられる程度)が必要である。実際の授業は船が購入されて後ということになるが、その際には必ず実習を兼ねたものになる。
- ③ 業務形態: 大学での講義および学生の実習指導を行う。
- ④ カリキュラム: 大学の教員
- ⑤ 現地で利用できる教材: 船の購入が予定されているが具体化していない。
- ⑥ 職場での母国語: なし
- ⑦ 使用する言葉: 英語およびセバヤ語(セバヤ語→セバヤ語のフ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学の養殖池の周りには海水浴場があり約2km(巾約50~100m)にわたっており、もちろんその延長は魚業資源が比較的豊かといわれる海域に接している。このように周辺の環境を利用し、魚のとり方を学生に教えることが期待されている。この周辺の海域では、サワウサ、アサギ、ワニ等の魚にクラゲをとれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
水産系大学の漁具漁法関連学科卒業で実務経験1年以上あり。

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 13 日

調査者氏名 新保昭治

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fishing gear and Methods (日本語) 漁具漁法	新規 <u>交替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	1983年10月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources
(日本語): 水産資源局
- ② 隊員勤務先名称: B.F.A.R. District Fishery Office 日本語名称(水産資源局 地方事務所)
所在地: Laoag City, Ilocos Norte 主要都市(マニラ)からの約450キロ
- ③ 事業規模及び内容: 事務職員が6名、沿岸漁業普及員4名、他に臨時職員が4名いる。このうち水産局所有の船は1隻。このうち州内にはテラコトの魚生産を目的とした施設が5ヶ所あり、そのうち主要業務は行っている。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Extension officer (水産改良普及員) とする。
- ② 技術の範囲:
- ③ 業務の形態: 漁具・漁法の紹介等のデモンストレーションと、~~漁~~ 当地の漁業に関する調査活動が考えられる。(現在は、調査活動を行っていない。)
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: B.F.A.R. の Extension Officer が隊員のカウンターパートとなる。水産学校卒業、年齢は25-30才。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語、イロカノ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在行っている調査活動については、多少の評価が与えられている。しかし、隊員に期待しているのは、「何か新しい漁具・漁法の紹介」といったところである。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

水産学部卒業程度。活動として、漁業のデモンストレーションを行ってゆく場合には、乗船経験があることが望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

181

181 漁具 漁法

記入昭和 55 年 8 月 9 日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method (日本語) 漁具 漁法	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)
(日本語): 水産資源局
- ロ. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I 日本語名称 (同上)
所在地: Dagupan City, Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場からなり, 自治体で管轄される水面以外の水域における資源の管理, 保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。
- ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はない。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソンネー帯をカバーするリージョンIのうち4つのプロビンス

- (イロコスルテ, イロコスル, ラグニオン, パンガシアン)には現在 海を持つ隊員が各々一名ずつ配置され活動している。
- 主な隊員業務としては 漁業実態調査, 漁業デモンストレーション, 水産教育分野等が行われており, フィールドワーク主体である。漁, 漁況調査データ収集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。
- ① 隊員の業務上の地位... 漁業普及員
 - ② 技術の範囲... 海洋観測および各種漁具漁法の理論かつ実践にみる基礎的な知識を要する。場合によっては前任隊員の引継ぎ事項として飼育種のデモンストレーションが含まれるかもしれない。
 - ③ 業務の形態... 広範な漁業普及活動及び北西部ルソンネー海域の総合的な漁業実態調査を推進する上において現時点では各州に一名ずつ配置され, それぞれが十分連絡をとり合って現地スタッフと共に業務遂行する。
 - ④ 対象者... 漁民
 - ⑤ 現地で利用される機材... 特に無し。
 - ⑥ 第三国人等... アメリカ平和部隊 数名
 - ⑦ 使用する言語... 英語, 他カ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 任期満了に伴う交替隊員の要請

(新里 稔一隊員(男)の漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

水産高校卒業以上で, 実務経験を有するこしが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 18 日

調査者氏名

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fishing gear and method (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年4月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources
(日本語): 水産資源局
- ② 隊員勤務先名称: Bureau of Fisheries and Aquatic Resources 日本語名称 (水産資源局リージョナル)
所在地: ダバオシティ Regional office Extension 主要都市 (マニラ) から 400 キロ
- ③ 事業規模及び内容:
この組織は国の管轄によるものであり、首都マニラに本部、各州に活動の中心となるリージョナル オフィスがあり、勤務先はその支局的存在である。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):
この類の職務に限り記入の必要無し。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 一般職員
- ② 技術の範囲: 漁具漁法についてのテクニカルアドバイザーとしての知識経験が必要とされる。
- ③ 業務の形態: 現在の活動の中で主となっているものは古くは利用した人工魚礁プロジェクトであり、リージョナルと JOCV との話し合いのことで約2年前に着き出し調査活動に始まり、建設、投入の段階を経てその効果判定の時期に達している。しかし、試験操業、潜水観察を主体としこれにはプロジェクトの拡充を図る為、各知庁会社を始め、各組織へのドナーとしての依頼などといった交渉も必須と考えられる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 漁師などの技術レベル (金が無い為) カウンターパートに関しては平均 23-25 歳と若く、やる気は充分だが、大学を出ているもののその技術水準は決して高くない。

- ⑤ 現地で利用できる機材:
船外エンジン付スピードボート, gillnet, 海洋観測に必要な各種機材 (ソナー、GPS、流速計、GPS etc.)
- ⑥ 第3国人等の配置状況: American Peace Corps が何人も配属されている。
- ⑦ 使用する言語: 英語, 現地語 (タガログ, ヒロカノ, イロガシナ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

この中で魚礁プロジェクト一点に集めて活動して来たが、カウンターパートがその技術、その他に取得し始め、ひと歩の進歩まで進んでいる。やはり JOCV の協力無しに遂行可能と思われない。しかし資金面においては援助が不足している部分も残り、これはその依存度を低くしていくように努め、おこなう BFAR が行なえる形をとってゆかねばならない。よって隊員はその現状を認識して活動する。

- ④ 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 漁師としての経験が必要とされる。各種漁具漁法の知識、体験はもちろんであるが、入居していきやすいタイプが望ましい。モーターボート操作、スクーバダイビングの経験があれば尚良い。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 9 日

調査者氏名 平田 恒

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareaux et Methodes de (日本語) 漁具 漁法	新規 交替	(男) . / 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年10月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Service Régionale des Pêches Maritimes de Thiès
(日本語): 42州水産局
- ② 隊員勤務先名称: L'inspection Régionale des Pêches 日本語名称(州水産局)
所在地: Joal 主要都市(MBOUR)から 3.5 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 新しい漁具及び改良漁具の製作、その試験操業 普及

- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、職員の家、隊員の家(水道 電気あり)、車
及び 機材用倉庫

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 漁法指導員
- ② 技術の範囲: 1. 型巻網 刺網 釣り 地曳網 による漁法である浅海域での漁が中心となる。
- ③ 業務の形態: 現在 刺網を中心として漁具の製作 試験操業を行い その結果を報告している。また 新しい漁具を漁民に貸して その成果を見ている。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者 現地漁民、資材こそ おそまつであるが 相当の技術を持っている。かつおは 年齢 45才以下の 漁具漁法航海術 および海

- ⑤ 現地で利用できる機材: 12馬力エンジンには、すべてに長けている。

7m FRP ボート, 8馬力船外機, 刺網 及び 釣り漁具類。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし。

- ⑦ 使用する言語: フランス語, ウォロフ語, セレール語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: およそ資源乏しいものの、この国では、漁業の増進に力を入れており、漁具 船具 及び 漁業用燃料は、免税品扱いをしている。ここには沿岸漁業の新しい漁具 改良漁具を使用した 漁獲量の増大を期待している。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁具漁法について博識で 日本での沿岸漁業の経験が 2~3年以上ある人が望ましい。また 船外機 を取り扱えること。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 3 月 10 日

182 養

殖

調査者氏名 野津善男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Aquaculture (日本語) 養殖 (カキ)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (日本語): 水産海洋資源局					
② 隊員勤務先名称: Tambac Bay Oyster Farm 日本語名称 (タムバク湾カキ養殖場) 所在地: Marikina, Alaminos, Pangasinan 主要都市 (マニラ) から 240 キロ					
③ 事業規模及び内容: 水産資源局オリーブシヤン内にあるカキの養殖場であり、技術的には民間所有であり、研究設備は十分である。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: カキ養殖についての研究普及員					
② 技術の範囲: カキ養殖についての理論的な実地知識を有すること。種カキの改良方法についての知識も必要である。					
③ 業務の形態: マニラ近郊にあるカキの養殖場およびタムバク湾養殖場を拠点として、カキ養殖の改良普及に努めるとともに、他の貝類の養殖についても研究する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は、カキ養殖を有する、21歳以上の漁民とする。					
⑤ 現地で利用できる機材: 持っていく					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語、フィリピン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
当地方ではカキ養殖は盛んであるが、カキの身が小さく、生産量も低いことを改善するために要請が出されたものである。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
水産系高校及び大学卒業					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 〇 月 14 日

調査者氏名 谷川 亨 志雄
高橋 清隆

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Aquaculture (oyster) (日本語) 養殖 (カキ)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Jabatan Perikanan, Sabah (Department of Fisheries, Ministry of Agriculture and Fisheries Development) (日本語): 農業水産開発省, 水産局					
② 隊員勤務先名称: Tawau Oyster culture Sungai Imam station (日本語名称: タウウカキ養殖試験場) 所在地: C/o. Jabatan Perikanan Tawau, P.O. Box 6161 主要都市 (タウウ) から 16 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同水産局ではサバ州各地に約8ヶ所の養殖ポイント外を(海水, 汽水)を実施している。同養殖ポイント外はカキ水産研究センターがコントロールしており同ステーションはタウウにある水産局事務所が管理している。同ステーションはオプシ-の6名程度がカキ事業, タウウ-キ-を構成している。同ポイント外は約10年前にカキ政府の援助で					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): よう開始以来。昨年度は20~30kg程度の収穫がとれた。					
Sungai Mapan station, New station (Kg Imam), Tawau 事務所 (別添写真)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Project Officer (Fisheries Officer)					
② 技術の範囲: カキ養殖に肉付する全行程にわたる知識・技術 (付着期に達したカキ幼生を採取する方法, 育成方法の改善等)					
③ 業務の形態: (1) 養殖場の運営・管理 (上記の業務も含まれる) (2) 基本的データ収集及び調査 (水質, 水温, 塩分濃度, 飼料の消化率等) トンビ有機廃棄物処理の処理方法の調査も含まれる調査) (3) 併せて現在同ポイント外担当者に対する助言, 指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: (Mr. Roland Lim) カキ養殖業務に肉付する3ヶ月間程度の研修を受けている。マスターレベルの3年間の経験					
⑤ 現地で利用できる機材: FRPボート (25HP ~ 80HP) 2隻 育成カキの器具 実験器具 (別添写真)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし (JOCVの者が同水産局に配属されている)					
⑦ 使用する言語: マレー語 (レポート及びスタッフとの話し合いは英語が主に使用されるが現場ではマレー語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同水産局ではサバ州内の養殖事業を発展させるべく各地で各種養殖を行っていますが専門知識を有する人が不足している。オプシ-が何ヶ所かをポイント外をコントロールし必要は交通に乗っているが状況は悪い。同カキ養殖ポイント外も開始されたオプシ-10年が経過しているがまだ開発途上であり業務レベルで活動できず同養殖に肉付する知識・技術を持つ人材の協力を期待されており。同ポイント外への軌道に乗るよう要請されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産系大学卒業程度, カキ養殖に肉付業務経験1~2年程度 (又は高校生, 業務経験3~4年程度) ボート運転免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 14 日

調査者氏名 谷川 志雄
高橋 清隆

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (マラカ)	(現地公用語) Aquaculture (seaweed) (日本語) 養殖 (海藻)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Jabatan Perikanan Sabah (Department of Fisheries, Ministry of Agriculture and Fisheries Development)					
(日本語): 農業水産開発省 水産局					
② 隊員勤務先名称: Jabatan Perikanan, Semporna (Pulau Kalapuan station) (日本語名称: 水産局セムポルナ事務所)					
所在地: 40, Jabatan Perikanan, Semporna P.O. Box 133, 主要都市 (セムポル) から 0.5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同水産局のマラカ州内の養殖施設 (海水、汽水) を実施している。同7日江外も同様に研究開発プロジェクトがありセムポルにも事務所が管理している。同事務所が同一事業を包含10名程度を日給労働者で構成している。以前にマラカ州内の養殖場を用いて、より効果的な養殖方法を試み、その結果を報告している。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 昨年度に予算は約170,000 MYR 程度であった。 (別添録)					
同事務所は実験室及びプロジェクト用の設備、ステーションは毎日乾燥場と常設専用、簡易給排水					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Project Officer (Fisheries Officer)					
② 技術の範囲: 海藻養殖に関する一般的な知識、技術 (増殖方法の改善及び養殖場の設置方法等)					
③ 業務の形態: 1) 養殖場の運営、管理 (土木業務も含む) 2) 養殖データの収集、調査 (水質等及び季節別の変化等) 3) 同7日江外担当者に対する助言、指導 4) 又、可能な限り他種、海藻の研究					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: フィッシャー-アシスタント Form 5 年, 29才 (Chn Thomas Yong)					
⑤ 現地で利用できる機材: FRPボート - 5 隻 (内2台ハブリング機) 実験室 - 実験水槽、海水ろ過装置、顕微鏡、リニエーター、ガラス器具 薬品類 (別添録)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし (JOCV 3名が同水産局に配属されている)					
⑦ 使用する言語: マレー語 (レポート提出、スタッフとの話し合いは英語が主に使用されるが現場ではマレー語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同水産局のマラカ州内の養殖事業を発展させるべく各地で養殖を行っていき、専門知識を有する人が不足している。プロジェクトが同7日江外をカバーしているため、同7日江外軌道に乗っていると言えない現状である。同海藻7日江外も予算使用額が十分に効果がある。2名が定着し、その活動から同養殖に関する知識の普及の協力を期待されており、同7日江外が軌道に乗るよう要請されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産系大学卒業程度 (藻類学等)、海藻養殖に関する実務経験1~2年程度 (又は、高校卒、実務経験3~4年程度) ○ボート運転免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和58年3月14日

182 養

殖

調査者氏名

小松紀司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Fresh Water Fish Culture (日本語) 淡水養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	59年1月 4	
(1) 配属先 Fishery Section					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Food & Agriculture, Dep. of Agriculture, (日本語): 食糧農林省, 農林局, 水産部					
② 隊員勤務先名称: Pokhara Fishery Development Center 日本語名称(ポカハラ水産センター) 所在地: ネパール国ポカハラ市バクタム 主要都市(ポカラ)から4キロ					
③ 事業規模及び内容: 同センターはフェワ湖(450ha)、ベクタ湖(225ha) 11ヶ湖(117ha)の淡水を中心とする養殖を行っており、年間10トンの生産がある。湖への養殖技術普及の目的から、同センターと同センターの技術者による。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 魚の稚魚生産用1m ⁴ ×1m ² ×1m ² の稚魚養成用と池6面(約300m ²)を地上に淡水湖に網生着45面(約2250m ²)を設置している。					
(2) 隊員の業務内容 ポカハラ管内の淡水湖の水産開発と淡水養殖を中心とする。					
① 隊員の業務上の地位: 2nd Class 土佐技術士					
② 技術の範囲: 中国鯉を中心とした網生着養殖。					
③ 業務の形態: 上記②の淡水湖でのフィールドワークを中心とする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 18~38歳, 専門学校から大学卒までの技術レベルを有する。その中で1971年秋田県水産振興センターの94月の研修を修了している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水産に活用可能な一過り装置の活用可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 和田江アジの56年2月27日活動59年2月迄予定					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1971年8月より現在まで4代目(和田江アジ)時代よりセンターの方針として、カセウ湖を主とする網生着養殖の推進に努めてきた。同養殖方法の普及と、それに伴う稚魚生産の技術普及に努め、発展させた。湖の水産を強く期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学(水産、淡水養殖専攻) 実務経験2年以上 中国鯉の網生着養殖に関する知識があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年9月/日

182 養 殖

調査者氏名 小松 紀 岡

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) FISHERIES	(男) 2 人	訓練開始 59年 月
	(日本語) 養殖(淡水)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 58年 9 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture (日本語): 食糧農水省農林庁			
ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Development Centre 日本語名称 (養魚場)			
所在地: Trisuli, He. Tanda, Fatehpur 主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: トナリ : 鱈魚の養殖 水深(冬18℃, 夏12℃), Carp Pond 4面 トナリ Trout Pond 18面, 止水池 6面 トナリ : 鱈魚の養殖 冬場に生産している。Carp Pond 30面			
ニ. 設備概要: トナリ : 13面 上記同			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位: 各養魚場での養殖専門技術者として取り扱われる			
② 技術の範囲: 主に養殖の Production と Experiment である			
③ 業務の形態: トナリ: ポドカブリカブリの鱈魚の養殖である。貧しい農民の 動物性たんぱく質供給事業である トナリ: リウカブリカブリの自然水流の中国鱈魚の養殖である 近隣農民の命をとり、貧しい農民への 現金収入には動物性たんぱく質供給事業 である。Limnology の研究がある。 特筆的には、地元農民が耕地に池をつくり 養殖の技術の伝授と要請を受ける			
④ 対象者: 場長 1名 Fieldman。高度の専門知識はない			
⑤ 村長: Experiment 業務用の経験は全くない			
⑥ 予備員技術者: 米田平和部隊近く駐屯の予備員(養魚のみ)			
⑦ 使用言語: ネパール語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
これは高度な技術は必要ないが一般養殖、特に鱈魚 鱈魚の本業はよい。これは合わせて養殖生産の技術が必要である			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
大卒(増、養殖等) 鱈魚や他魚の養殖実務経験2.3年以上 (淡水魚(河川流))			
B.Sc (Biology) 取得の必要			

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 58 年 8 月 18 日

調査者氏名 JOCYPTICA 事務所 黒沢和寛

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) FISH CULTURE	新規	(男) 人	59年 7月	
	(日本語) 水産養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Tourism and Wildlife
(日本語): 観光・野生動物省
- ② 隊員勤務先名称: Fisheries Department, Kisumu 日本語名称 (ケニア水産局))
所在地: ケニア P.O. Box 1084, KISUMU 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: ケニア最大の水産局。種魚の生産、養殖技術指導、養魚池の建設。漁網漁具等新技術の普及、改善。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所2棟、倉庫2棟、養魚池5軒、トローリ船1隻、小型船(ボート等)数隻、船外機: ホンダ等。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Assistant Officer
- ② 技術の範囲: 養魚池の設計、測量、工事、飼育指導、収穫
- ③ 業務の形態:
 - 1) 個人養殖(池)家の訪問指導
 - 2) 養殖希望者と訪問し、その可能性を判断の上、測量、設計し、工事の技術と指導する。
 - 3) 生産力向上のための施肥、給餌技術と指導する。
 - 4) 水産局内の池を整備し、種魚の生産と行いほか、各種実験を行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:
技術は殆んどなく現在教育中。高卒 20才。
- ⑤ 現地で利用できる機材:
自動車、ポンプ、船外機付ボート、魚網、各種工具。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産漁業関係専攻であれば養殖関係者をなくともよい。
温厚で創意工夫に豊む人。自動二輪免許。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 日

182 養 殖

調査者氏名

中垣長睦



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年8月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Department of Fisheries, Ministry of Agriculture & Water Development
(日本語): 農水省資源開発局水産局
- ② 隊員勤務先名称: Mwekera Fish Farm 日本語名称(ムケラ養魚場)
所在地: Kitwe と Ndola の中間 (Kitwe より) 主要都市 (Kitwe) から 26 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 120 余の養魚池で、ザンビア各地の養魚池および養魚をめぐりザンビア人農民を対象にトレーニングを実施している。また、Mwekera から 55.55 Km 離れたところにいる Masaiti 支場の養魚池を管理下にあり、同支場は 10 の養魚池があり、6 人のスタッフがいる。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): Mwekera → 養魚所、倉庫、トラクター、ランドローバー 3 台、教室 2、宿舎 (約 20 室) 養魚池、養魚池 約 40、水は豊富 (たばしきも豊富)

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Fisheries Research Officer
- ② 技術の範囲: Mirror Carp の種苗生産および養魚が中心。Kitwe 市近郊の養魚場への指導、Mwekera 養魚場での training center での講義も行う。
- ③ 業務の形態: 実地に Mirror Carp の種苗生産にかかわることに仕事の大半を占めるが、training center での講義も行う。通常の勤務は月～金 AM 8:00～PM 5:00 (PM 1:00～2:00 昼休み)、土日は休みであるが仕事のためには土日も必要に応じて仕事をすることに求められる。局長以下に、2 名の Fish Scout、その下に約 25 名の worker がいて業務を行っており、局長および Fish Scout での連携が仕事を進められていく。また、Masaiti の養魚池へも定期的な巡回で出張指導等がある。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 6 か月～1 年周、水産局でのトレーニングを受けている (Form 3-5 卒業程度) ので技術水準はそれなりに高いが、魚の取扱い、
- ⑤ 現地で利用できる機材: 水質検査器、ポンプ、計量器、(移動に) 基本的な工具等、0.5 石のポンプ、水槽、小型エアポンプ、収穫用型網、ボート、58 年度 JICA から提供されたトラック等 (生活用輸送車等)
- ⑥ 第 3 国人等の配置状況: FAO からの専門家 1 人 (西ドイツ人)
- ⑦ 使用する言語: 英語、ベンバ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

ザンビア政府は国民へのタンパク質食糧の確保の観点から養魚に大きな期待をもっている。特に 1980 年協力隊員の来隊により導入された Mirror Carp (鏡鯉) への期待は大きい。現在隊員の来隊により進められている Mwekera 人工種苗生産場建設の計画もザンビアの水産にとって不可欠のものであり、新隊員にかかる期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学の水産増殖学を卒業したものが望ましい。
 (2) の種苗生産技術も持っていることが必要 (ホルセン活射により魚卵を採ることができる) ホルセン活射については研修による習得も可

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 9 月 20 日

182 養

調査者氏名

鈴木 稔

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル 共和国	(現地公用語)	新規	(男) 1 人	59年10月	
	(日本語)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): L'inspection Régionale des Pêches Maritimes de Thiès à Joal					
(日本語): ティエス州 ジョール水産局					
② 隊員勤務先名称: Joal 及び Somone 日本語名称(ジョール及びソメヌ)					
所在地: ティエス州 主要都市(ジャール)から120キロ					
③ 事業規模及び内容: ジョールには古くからカキ養殖の歴史があり近年フランスを基軸として日本のマカキも試験的に育成されている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): カキカゴ 倉庫 採苗用バルフ					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ジョール水産局 職員					
② 技術の範囲: 特にカキの専門家である必要はない。水産一般の知識があれば良い。					
③ 業務の形態: 主にロカルク種及びマカキの管理 育成・採苗。カキカゴの作成と維持。採苗方法に技術改良。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートはフランス人カキ養殖見習いの経験がある水産学校卒、43歳 水準は初～中程度で高くない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡、長ぐつ、カキカゴ、小型トラック、一輪車					
⑥ 第3国人等の配置状況: ジョールにはキリスト教信者が多いので白人宣教師もいる。					
⑦ 使用する言語: フランス語、部族語(セレル、ウオロフ、ジョラ 等)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ジョールには古くからカキ養殖の組合があり現在組合員は100名を越えている。また近年試験的に育成を始めたマカキに対する期待はとてま大に熱心なカウンターパートの助力が得られる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
広く水産一般の知識があれば良い。実務経験があれば尚可。					
水産高校又は大学水産科卒。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

殖

記入 昭和 52年 6月 08日

調査者氏名 河野文男、高橋正史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Acuacultura	(女) 人	派遣予定 59年 7~10月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
養殖			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Tecnológica de Costa Rica (ITCR)
 (日本語): コスタリカ工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: ITCR, Sede San Carlos 日本語名称 (工科大学サンカルロス分校)
 所在地: サンタクララ 主要都市からの距離 (首都より100キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農学部 (牧畜、獣医学)
 学生数: 850名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業格上の地位: 技術指導顧問
- ② 技術の範囲: テラコラ生けす養殖, オニテカエビ, 在来種
- ③ 業務の形態: 調査, 研究, 指導
- ④ カウンターパート: Roberto Gallardo 年令 20代後半, 生物学士
 一般遺伝学, 生物学担当教授
 養殖の知識は皆無
 ITCRの学生その他隣接の農業高校での指導もある
- ⑤ 機材: 生物研究, 化学分析 関連機材
 養殖池造成用トラクター
- ⑥ 本邦同人: ITCRには無であるが, 米国防和部隊1名が同地域にて養殖に従事している。
- ⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

旧態依然のシステムから脱却し, 生産性の高い養殖を目指し
 農組養殖家へ現金収入の途を開き, 以てコ国人の食生活をも
 改善する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒
- ② 養殖池の設計
- ③ テラコラの交配品種

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 / 月 19 日

192 水産統計

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィジー	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 58 年 月
	FISHERIES STATISTICS	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 58 年 月迄に現地到着のこと
水産統計			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE & FISHERIES

(日本語): 農業水産省

ロ. 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION OF M.A.F. 日本語名称 (農水省水産局)

所在地: P.O. BOX 358 SUVA, FIJI 主要都市からの距離 (— より — キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本でいえば県の水産課程度の事業規模である。事業内容もほぼ同様である。

ニ. 設備概要: 水産局の建物から設備等、ほとんど日本からの援助によるものである。従って業者に必要な設備は大体整っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 資源調査・開発課に配属される。

2. 技術の範囲: マイクロコンピュータ (Hewlett Packard 9836 型) を駆使しデータの処理・分析ができることが求められている。プロジェクトの損益計算・漁獲統計の作製が業務に含まれる。

3. 業務の形態: 季節折に勤務するものが主体となる。

4. カンパ等: ハワイ型コンピュータを学んだ中国系の若い女性が現地の段階では唯一のカンパ等であるが、他の水産局員にコンピュータに関する知識を広めたいと要望されている。

5. 利用できる機材: 上記 HP 9836 型 マイクロコンピュータ及び付属機器一切。

6. 外国人等の配属: 水産局には現地に基礎部門に 5 名の JICA 派遣要内容が派遣されており、水産公社に別々 3 名の要内容が派遣されている。その他米国民間部隊員若干名も配属されている。

7. 使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

従来オーストラリア人の専門家がフィジーの水産統計の責任者であったが、昨年帰国し後任が得られなかったため、日本から協力隊員を迎えその任にあつてもらうことに、フィジー人役員と相談し、その中から将来後継者が育てられるよう期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学 (経済学部卒) で統計学を専攻又は統計の実務経験があること。

マイクロコンピュータの操作技術を有すること。水産についての知識はあってもいいが、必須ではない。